

議 事 録

| | | | |
|-----------------------------|--|---------------------------------|--|
| 会 議 名 | 平成28年度 第1回寒川町生涯学習推進会議 | | |
| 開 催 日 時 | 平成28年7月1日（金） 午後1時～2時35分 | | |
| 開 催 場 所 | 寒川町民センター 1階 会議室 | | |
| 出席者名、 欠席者名 及び 傍聴者数 | 出席者：菊地原委員、及川委員、細野委員、恵羅委員、平本委員、鈴木委員、 加藤委員、江島委員 欠席者：吉田委員、木村委員 事務局：中島町民部長、芹澤協働文化推進課長、 木下協働文化推進課主査、白井協働文化推進課主事 傍聴者：1名 | | |
| 議 題 | 報告事項 (1)「寒川 学びプラン」平成27年度事業報告及び第2期実施計画の評価 について (2)「寒川 学びプラン」平成28年度実施計画について (3)平成27年度さむかわ町民大学等の実績について | | |
| 決 定 事 項 | ○議事録承認委員は、会長及び副会長が務めることを確認。 | | |
| 公開又は 非公開の別 | 公 開 | 非公開の場合その 理由（一部非公開 の場合を含む） | |
| 議事の経過 | <p>1 開会 芹澤協働文化推進課長</p> <p>2 委嘱状交付 選出団体等からの委員変更届に伴う委嘱 平本委員（公益社団法人寒川町シルバー人材センター・理事）</p> <p>3 各委員及び職員自己紹介（資料1）</p> <p>4 あいさつ 鈴木会長 中島町民部長</p> <p>5 議事録承認委員の指名 承認委員は鈴木会長、江島副会長が務めることに決定する。</p> <p>6 報告事項 (1)「寒川 学びプラン」平成27年度事業報告及び第2期実施計画の評価に ついて（資料3、4） ・資料3、4について、事務局から説明。 平成27年度は第2期実施計画期間（平成23年度～27年度）の最終年度 であるため、今年度は5年間の評価を合わせて行う。 第2期実施計画は具体的な目標指標の数値などがいないため、平成27年度評 価は、5年間の取り組み目標に対する達成度と事業の成果・課題等を、また、 第2期実施計画期間の評価は、5年間の評価とその理由を自己評価している。 平成27年度の達成状況及び5年間の評価は、AからDで表記している。 5年間の評価の概要としては、全事業に対して、「A達成した」、「Bおお むね達成した」を合わせた割合は93%となっている。</p> | | |

各事業について確認いただき、ご意見等をいただきたい。

(会 長) 5年間の評価は、A、B、C、Dでランクづけてパーセンテージ表示されているが、5年間やって何が良かったか、平成28年度以降続けるにはどこを修正しなくてはならないか。

(事務局) 昨年度、第3期実施計画の策定にあたり、26年度の実績までを踏まえ、第3期の実施計画を策定している。委員の皆様から、第2期実施計画は非常に細かい仕分けで事業の取り組みをプランに位置づけていて、全体像がわかりにくいにご意見をいただいたため、第3期実施計画は見直しをした。

27年度事業の実績をまとめた中で、学習を推進するということでは、「ライフステージごとの学習」、「分野ごとの学習」では、「A達成した」と「Bおおむね達成した」が非常に高く、計画どおり推進ができたのではないかと事務局では考えている。「参加を支える環境の整備」が「A達成した」よりも「Bおおむね達成した」の割合が多く、今後力を入れて取り組んでいくべき。参加したくても参加できないという状況が生じないように、「参加を支える環境の整備」は、行政が生涯学習を進める上では非常に重要な部分ではないかと考えている。「情報提供体制・相談体制」も、AとBの評価を合わせ90%を超えているが、引き続き皆様に情報を提供し、誰もが参加しやすい環境づくりを推進していくことが必要と考える。

また、評価が自己評価でしかない点を委員の皆様からご指摘いただいたため、第3期は、事業の指標を事業ごとに定め、その指標に向けて達成をしていくように取り組むよう見直しした。

(委 員) 「参加を支える環境の整備」が一番達成度が低かったということだが、それはなぜ分かったか。

(事務局) 開催日時の工夫は各部署で事業実施する際、取り組んでいるが、託児や手話通訳・要約筆記の配置はなかなか実施が進んでいないところがある。各所管課に力を入れて取り組んでもらう必要があると考えている。

(委 員) 一つ一つは、こういう理由でうまくいかなかったとか、100%達成しなかったということはあると思うが、きめ細かさが足りなかったのでは。計画してできなかったのは、やり方が悪かっただけでなく、計画そのものが良くなかったということもあり得る。

ある程度枠が決まっているから、今から事業内容を変えるというのは大変だろうが、物事にはプライオリティーがあるから、優先順位をつけて仕事していく。達成率が悪いのは、現場で優先順位が低かったということ。計画そのものも見直す必要があると思う。やらなくて良いことを計画に挙げたら、当然達成率が悪くなる。必要なものであれば、優先順位が上がり、やると思う。その辺、もう少しきめ細かい見直しが必要なのではないかと思う。

(事務局) 第2期実施計画は事業計画だけで、それに取り組むか取り組まないか、といった計画になってしまったのが反省点。第3期はそこを改善し、指標を定めて、プランの進捗状況を目に見える形でわかるように、取り組みを細かく進めていくような実施計画を策定した。第2期の反省を生かし、第3期の取り組みを進めていきたい。

託児や手話通訳は、職員一人一人の意識も変えていかなければならない。手話通訳派遣、託児実施の状況も、担当課として把握をし、できていないところに対しての働きかけにも力を入れていきたい。

(会 長) 南部公民館で中級英会話講座を開催予定だが、今日0歳児のお母さんが行っても良いかとの問合せがあった。積極的に若いお母さんに参加してもらうのは大事で、皆同じ気持ちだが、実際は困ってしまった。申込者が来

た時に考えるのではなく、町全体として公的なものをするときに、0歳児ベリーウエルカムですよという感じがないと、「若い人に多く来てもらって…」という町2020プランや新しい創生、いろいろ立派な概念をやっても、子供1人連れた若いお母さんも入れてあげられないのかとなる。実施計画に「参加を支える環境の整備」と書いたときに、実際的な補足するような支援体制をとらないといけない。

(事務局) 講座を計画する段階で、託児ボランティアの派遣を手配していただければと思う。

(会長) でも、今までそのような事例がないと、こういうふうにオープンにやった場合、全てそのように対応しなさいと言うことになる。多分100回の内、実例があるのは1回か2回になる。常時に100のうちの1%の対応をするためでなく、その1%が出た時に、臨機応変的な対応をどうとるか。全部につけたらコストもかかるし、全部ボランティアに任すわけにもいかないのです、そういう臨機応変性が必要だと思う。

(事務局) 男女共同参画の講座も担当しているが、あらかじめ託児ボランティアの手配をし、託児マークをつけ、託児ありますので安心して受講してくださいというPRをしている。全ての講座にそのような対応がとれる体制づくりが、若い世代に選ばれる町という意味からも今後必要だと考えている。

(2)「寒川 学びプラン」平成28年度実施計画について(資料5、6)

- 資料6について、事務局から説明。

平成28年度実行計画は、第3期実施計画の項目構成に基づき、事業名、基本計画の施策の方向、重点事業の設定、事業内容、平成28年度事業予定、目標指標、目標数値を記載している。重点事業の設定の欄には、重点事業を設定した事業の場合、記載がある。目標数値は、町総合計画や町教育振興計画に該当する事業については同じ数値を記載し、整合性をとっている。それ以外の事業は、過去の実績、予算、現状等を考慮した数値。

- 実施計画の目標数値についての確認

所管課の課長級で構成される生涯学習調整会議幹事会で、目標数値が現況と合わない事業について、目標数値を変更したいとの意見が出た。具体的には、事業NO.73の青少年広場や寒川総合体育館の年間利用者数について、平成27年度実績が当初見込みよりも伸びており、このままいくと、平成28年度実績が目標数値を大きく上回るため、目標数値を見直した方が良いのでは、という意見。

事務局としては、町の各計画と同じ目標数値のものは、整合性を考慮し、学びプラン第3期実施計画の前期が終了する平成29年度に、他の計画とともに中間見直しをするべきと考えているが、他の計画には該当しない独自事業については、ここで第3期がスタートしたところで、見込めない部分があるため、28年度実績が出た段階で、目標数値と乖離があるようであれば、29年度事業計画から見直しをしたいと考えている。委員の皆様からご意見を伺いたい。

(委員) 寒川総合体育館で利用者数の目標数値を1万変えたとして、施策、やることは変わるのか。ただ目標数値ということだけか。

(事務局) その施策としては、目標数値に向けて利用者なり講座、教室等の参加者なりを増やすための取り組みを進める。1万人を増やすために、新たに1万人分の事業に取り組むというものではない。

(会長) 本質が変わらなければ、28年度を見て見直すということで良い。

(事務局) 年度により増減もあるので、実績と乖離があるようであれば見直しをさせていただきます。

・平成28年度実行計画について

第3期の実施計画前期（資料5）は、平成28年度から平成29年度の2年間で取り組む実施事業、事業内容の概要、目標指標と平成28、29年度の目標数値を記載している。平成28年度実行計画（資料6）は、その内の平成28年度に取り組む事業の具体が記載されている。平成28年度実行計画の事業予定について、ご意見等いただきたい。

（副会長） 資料5の第3期実施計画は、町民のニーズ、要望がどのように出てきて、どこへ反映したか。平成18年に「寒川 学びプラン」をつくった時に聞いた意見ではなく、その都度いろいろ意見を聞いていると思われるので、例えば講座のアンケートでどんな講座を期待するか等、町民の声、要望を、どこでどのように聞いて、斟酌し、この計画にどのように反映したか。

（事務局） 第3期実施計画でどのような事業を実施するかについては、プランに対してのパブリックコメントを実施している。また事業を実施する中で、所管課がアンケート等の実施をし、参加者の意見等を反映して取り組んでいく。

（副会長） 実施計画に町民の声を反映させているということが書いてあるか。

（事務局） 町のプラン全体として、パブリックコメント制度そのものが町民の声等を反映させる仕組みです。

（副会長） パブリックコメントは4万人分の意見の一部。資料6（第3期実施計画の平成28年度実行計画）はとても細かいことが書かれていて、生涯学習推進会議では審議し切れない。なので、推進会議では、どういう考え方でこの実施計画ができていくか、大きなところで、グロスで議論すれば良いかなと思った。町民のどういう意見があって、そのうちプランに入れたもの、入っていないもの、町民の声に対してどういうふうに行動を起こしているかというのが出てくると良いと思う。

（事務局） 実施計画の中で、例えば環境に関する講座等の開催という実施計画の事業を、このプランに位置づけるかどうかというのをパブリックコメント等により反映させているが、その環境に関する講座でどういう具体の講座をやるかについては、実施計画では一つ一つ定義づけはしていない。それぞれの所管課が実施計画に位置づけた事業を、年度ごと、具体的にどんな講座や教室をやるかというのを計画し、今年度取り組むものを資料6でお示ししている。

（委員） 資料をもらった時、項目が多く、こんなに活動しているのかと思った。情報が来なくて知らなかった。皆さんは知っているのかなと思う。参加率が低いので疑問だ。

（事務局） 事業名でお知らせするのではなく、一つ一つの講座や教室の名称で、広報等で実施をするという告知はしているかと思う。

（会長） 行政は住民のニーズに応えるのが仕事だと考えるが、パブコメは4万7千人近くの内、意見を出すのが数人で、それも結構決まった人。町が良い仕事をするには、いかに町民のニーズをより多く政策に反映していくかというところで、大きな課題。

町民の全体的なニーズに対して、事業実施は細かいセクション、担当課に分かれている。学びプランは、それを取りまとめてやっているという点で難しい仕事だと思う。このコンパクトな町でできる、フェース・トゥー・フェースで話せば、町が良い方向に変わっていく何らかの形がないと、

ニーズに応えられない。

この資料に書かれているものはずっと実施してきたものが多いと思うが、新しく何かあれば、審議する価値がある。今ならば若い子育て世代をいろいろな面で楽にして、ここに移ってくる人を増やすのは、多分大きな課題だが、そのような方向に向かう代わりに、要らない事業を捨てていく取捨選択が大事。町民が喜んで、町が発展するトリガーになるようなものをしていければ、良い方向に行くのではないかと思う。

(委員) 目標を設けても、参加率が低いものは意味がない。手広くやるのではなく、集中したやり方でやらないと。

(事務局) 資料5は、皆様と議論しながらつくってきたので、町民の声は当然反映されていると思う。ただ、第3期の実施計画は完成しているので、後期にはそのような意見を反映できるようにしていきたい。第2期と比較すると、革新的に事業数も精査できている。1事業ごとに見える形に見やすくしたが、これが見にくいとなるとまた変更をしなければならない部分がある。

(会長) 第2期と比較すると、格段に良くなっているが、個人的にはそれでも多いと感じる。

(事務局) また、皆さんの意見を聞きながら、早めに改善していきたい。各事業主管課長級で組織する生涯学習調整会議幹事会へもいただいた意見を伝える。

(委員) 資料6の目標数値は、担当部署から上がってきた数値か。

(事務局) 担当部署が上げたものを、事務局とヒアリングし、決めている。また、町の総合計画さむかわ2020プランの実施計画に位置づけられている事業はその指標とリンクさせている。

(委員) 大きな自治体ではないので、どんなものでも参加者数が多ければ良いとは思わない。人数が少ない講座でも、質が良く、参加者の満足度が高ければ、有意義だと思うので、数値ばかり先行するのはおかしいと感じる。

79番の託児の事業の20%という数値の根拠は何か。

(事務局) これまでの実績は12.5%。託児の必要な年齢層をターゲットにした講座が全体の20%のため。

(委員) 事前に講座をアナウンスメントする時に託児ありとつけるのか。

(事務局) 講座の周知の際は、県が作成した「託児ありマーク」をつける等、託児がある旨を周知している。

(委員) 目標数値について、どうしたら達成できるかということは実行計画には書かれていない。

(事務局) 各所管課が翌年度の託児希望を出す時に働きかけをしたり、実績報告を受ける時に託児の実施がない場合、ヒアリングをし、数値を上げていきたい。数値目標は、算出根拠が分かりにくいので、もう少し補強していきたい。

学びプランは第3期実施計画で初めて指標、数値をつけたので、目標を達成したか、また、それに対する評価をどうするかは、今年度、委員の皆様にお諮りをしたいと考えている。例えば町民のニーズの把握ができていくかという評価が出てくるかと考えている。

(3)平成27年度さむかわ町民大学等の実績について(参考資料1、2)

- ・参考資料1、2について、事務局から説明。

さむかわ町民大学とさむかわ出前講座の平成27年度実績について報告

さむかわ町民大学は、町で行う町民向けの講座、教室などを取りまとめたもの。この内、幼児、青少年向けのものがさむかわゆうゆう学園。ゆうゆう学園は、昨年度と参加人数を比較すると、昨年度から継続している講座の個別では多少の増減だが、全体としては、参加人数が減少している。出前講座は、団体からの申請で職員が学習会などに講師として出向く制度で、昨年度より実施回数は減少しているが、受講者数は増となった。生涯学習を参加人数という指標だけで一概に評価することはできないが、指標の一つとしての参加人数を増やすことは課題。第3期実施計画の取り組み方針では、情報体制の充実、個別の課題に対応する学習機会の充実、生涯学習に参加しやすい環境づくりの推進を重点事業として設定し、取り組んでいる。

参加人数を増やすために、情報提供の手法等を研究し、何かご提案できればと思っている。また、参加しやすい環境の整備にも力を入れていきたい。

(委員) 平成27年度さむかわ出前講座は、大曲自治会への派遣が多く、偏っているようにとれるが。

(事務局) 大曲自治会から健康体操をやりたいという依頼を受けて実施したもの。年度により利用の多少に波があり、何年かのスケジュールで、自治会で取り組んでいるところもある。たまたま27年度は大曲自治会がこの制度をよく利用したということ。満遍なく利用いただくためにPRに努める。

(会長) 出前講座のメニューはたくさんあるが、健康体操以外は1件しか利用がない。メニューが住民に合っているのか考えないと。出前講座の本来は、行政側が集まりに参加して、今、行政が何に取り組んでいるか、データのいろいろなこと、将来的なことを語ることはないか。広報的な面で改善すべき。

(委員) 自治会はいくつあるか。自治会の加入率は。

(事務局) 22自治会で、内、3分の1程度が高齢者のサロン活動をしており、そこからの派遣依頼が多くなっている。自治会加入率は70%を上回る程度。

(委員) 加入率が高いので、自治会を通じていろいろ広報ができる。

(副会長) 自治会を通じて町民大学等を回覧してはどうか。インターネットは見る人が少ない気がするし、他の広報はできている。

(事務局) 回覧だと制限があるので、全戸配布してもらえよう広報にかけ合っていきたい。

(委員) 出前講座は、依頼する団体側がメニューを考えることはできるか。

(事務局) 基本的には決まったメニューの情報紙を配布しているが、団体側が要望した講座も、担当課と調整し実施している。10人程度集まっていれば、サークル的なところへも講師を派遣できる。協働文化推進課に相談いただきたい。

(委員) 子育て中の親がサークル活動をしていて、子ども向けだけでなく、親向けの健康や生活全般の設計に関するメニューがあると良いと思う。あとは、利用したい側が、その制度をどう知るか。

| | |
|--------------------------------|--|
| | <p>(事務局) できるかぎり周知を図っていきたい。</p> <p>7 その他 指定管理者制度導入について、事務局から現在の状況を報告 6月議会で条例の一部改正があり、総合図書館、文書館、公民館は、平成29年度から指定管理者制度が導入されることが決定した。図書館と公民館は運営と管理を、文書館は管理を指定管理者が行う。今後、指定管理者の公募に向けた募集要項の制定を9月に予定している。 事業の実施主体は指定管理者へ移行するが、指定管理者に対しての指導、監督は、町が携わる。学びプランについても、各事業について指定管理者にも意向を伝え、生涯学習の振興に努めていく。</p> <p>(会長) 町民大学の運営は、組織立った考え方があり、町全体を集計した形で見えるのか。現状は、例えば公民館の場合、各館の生涯学習推進員が事業を独自にやっている状況だと思う。「町民大学」と書くならば、オーソライズした形をとらないと、浸透しにくい。</p> <p>(事務局) 町民大学は組織立ってというものではなく、情報提供をとりまとめたものの名称として「町民大学」とつけている。町として現状等を把握し、指定管理者には、事業実施にあたって、実際の進め方を明示していかなければならない。</p> <p>(会長) どのように明示するか。</p> <p>(事務局) 教育委員会所管の社会教育は、その進め方や、どういうふう指定管理者を募るか、どういう事業をさせるかを教育委員会がしっかりと位置づけていかなければ、と感じる。生涯学習の担当であるこちらは、学びプランの中で位置づけたことを取り組んでもらえるのか、進行管理をしていかなければならないと考える。詳細な話は、今後、教育委員会で検討する。必要に応じて、説明に来てもらうなど考えたい。</p> <p>8 閉会 江島副会長</p> |
| <p>配付資料</p> | <p>資料1 平成27・28年度寒川町生涯学習推進会議委員名簿 資料2 寒川町生涯学習推進会議設置要綱 資料3 「寒川 学びプラン」平成27年度事業報告及び第2期実施計画（平成23年度～平成27年度）事業実施状況(案) 資料4 「寒川 学びプラン」第2期実施計画（平成23年度～平成27年度）事業実施状況の概要 資料5 「寒川 学びプラン」第3期実施計画 前期（平成28年度～平成29年度） 資料6 「寒川 学びプラン」第3期実施計画（前期）平成28年度実行計画 参考資料1 平成27年度さむかわ町民大学実績集計 参考資料2 平成27年度さむかわ出前講座事業実績</p> |
| <p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p> | <p>・鈴木 茂 ・江 島 新 吉</p> <p style="text-align: right;">(平成29年2月17日確定)</p> |